

## 管理運営評価シート(令和6年度)

施設名称	山北ゆり花温泉・交流の館「八幡」	評価対象年度	令和 6 年度
指定管理者名	さんぼく体験交流企業組合	所管課	山北支所産業建設 課
指定期間	令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年間)	評価者(課長)	森山 治人

## 1 令和6年度の実績

## (1)事業実績

利用実績	宿泊 3,662名、日帰り入浴 2,453名
サービス向上の取組	地域活動の交流拠点施設として、体験交流事業等を実施するとともに、研修・視察などの受入れや利用者に対しての地域情報の提供についても積極的に行っている。

## (2)管理経費

(単位:千円)

区分	前々年度 (4年度)	前年度 (5年度)	当該年度 (6年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	5,704	8,415	9,079	23,198	基本協定額: 18,158 千円
	利用料金	12,386	13,131	13,515	39,032	
	事業収入	171	267	23	461	
	自主事業収入	24	24	346	394	
	その他	0	0	0	0	
	収入合計 ①	18,285	21,837	22,963	63,085	
支出	人件費	9,973	11,835	11,679	33,487	
	福利厚生費	15	15	25	55	
	事務費	354	430	338	1,122	
	管理費	6,388	7,274	7,762	21,424	
	水道光熱費	2,774	3,260	4,010	10,044	
	修繕料	852	704	704	2,260	
	使用料・リース料	1,681	2,257	1,788	5,726	
	手数料・保険料	306	376	499	1,181	
	委託料	775	677	761	2,213	
	事業費	48	369	570	987	
	自主事業経費	0	0	184	184	
その他	2,178	1,766	1,924	5,868		
支出合計 ②	18,956	21,689	22,482	63,127		
収支差額(①-②)	▲ 671	148	481	▲ 42		

## 2 共通評価項目

(記入者)自己評価…指定管理者 所管評価…施設担当課

評価項目	判断基準	自己評価	所管評価	備考 (◎、△、×のときは評価内容、その他特記事項があれば記入)
公の施設の平等な利用の確保	事業内容等は、一部の市民や団体に対して、不当に利用を制限又は優遇するものではない。	○	○	
	社会的弱者の公平利用について、配慮されている。	○	○	
情報公開、個人情報保護の取組	情報公開、個人情報保護に係る措置が適切に講じられている。(書類の保管、社員への周知等)	○	○	
	情報公開、個人情報保護について、内部規約の整備や実施基準等が考慮されている。	○	○	
従業員の労働条件など法令遵守による管理運営	適切な労働条件や運営体制が確保されている。	○	○	
	関係する法律、条例等を理解し遵守している。	○	○	
業務仕様書の水準を満たしたサービスの提供	公の施設の管理運営にふさわしい理念やコンプライアンスの取組等、透明性の高い運営を行っている。	○	○	
	施設の設置目的を理解し、仕様書に指定された業務を実施している。	○	○	
創意工夫によるサービス向上と自主的な経営努力	サービス向上のための取組を行っている。	○	○	
	利用者の要望や意見を把握し、その対応方法が明確になっている。	○	○	
	施設やサービスの利用促進・拡大を図るため、適切な広報や的確な手法を行っている。	○	○	
	自主事業の実施方針及び内容は施設の設置目的を果たすものとなっており、効果的に実施されている。	○	○	
経営努力による経費縮減の取組	安全な管理体制及び事業実施に対して、適切な収支決算となっている。	○	○	
	縮減の取組がサービス低下につながらず、バランスが図られた事業内容となっている。	○	○	
	管理効率化等による余剰分を新たなサービス展開による施設効用の拡大につなげている。	○	○	
	新たな収入の創出等、経営の安定化に向けた独自の取組を行っている。	○	○	
適正な人員配置や人材育成の取組	適切な人員や有資格者の配置、勤務体制、労働管理となっている。	○	○	
	人材育成に対する積極的な取組が講じられており、職員研修等の人材育成に取り組んでいる。	○	○	
安定的な財務基盤による管理運営	指定期間で安定的な管理運営を行う財務基盤を有している。	○	○	組合全体の財務状況が引き続き厳しい状況にあるため、収入確保に向けた事業を実施し、負債減少を進める必要がある。
事件・事故や利用者への対応	苦情、事故、トラブルを防止するための具体策や対処方法は適切である。	○	○	
	利用者の安全確保と緊急時の対応・体制は適切に整備されている。	○	○	
地域貢献への取組	市内業者の活用や地元雇用の促進など、地域振興に寄与する事業内容である。	○	○	
	地域と連携した事業の実施や、地域活動への参加等による地域貢献に取り組んでいる。	○	○	

◎:協定等の内容を超える水準で業務を履行している ○:協定等の内容どおり業務を履行しており適正  
△:協定等の内容に対し、一部不履行がある ×:協定等の内容に不履行があり改善の必要がある -:該当なし

### 3 業務実施上の課題(指定管理者が記入)

<b>(1) 指定管理業務実施上の課題</b>
新型コロナ禍前の入込客数・売上に至っておらず、資金繰りに苦慮している。(自主事業の食堂運営が特に運営が厳しい)
<b>(2) 課題解決に向けた取組</b>
・利用者の増加に向けて、SNSやホームページ等を活用して定期的な情報発信をしていく必要がある。インターネットによる宿泊予約者数も徐々に増えてきているが、宿泊客獲得に向けた事業展開(体験メニューの充実など)を随時行っていく。 ・組合の資金繰りを安定化させるために、商工会・金融機関・市の指導により財務状況を精査し改善していきたい。
<b>(3) その他</b>
<b>①利用者からの主な意見や苦情、対応策</b>
特になし
<b>②その他</b>
特になし

### 4 全体的な評価

<b>(1) 指定管理者の評価</b>
経営改善に取り組んだ結果、令和6年度の指定管理施設分の収支は黒字になったが、自主事業(食堂運営)の赤字の額が指定管理事業の黒字分よりも上回り、組合全体としての収支は赤字となった。資金繰りが改善する状況には程遠いが、利用者増加に向けた取組を引き続き実施し、売上確保に努めていきたい。
<b>(2) 施設所管課の評価</b>
施設利用者が安全に快く利用できるように、日頃より適正な維持管理作業を実施しており、利用者からの苦情等もなく、施設の維持管理については良好であった。利用者は少しずつ回復してきてはいるが、新型コロナ禍前の水準には戻っていない中で、自主事業により開設しているWEBや予約サイト、SNSを使った情報発信を行い、顧客獲得に努めていることは評価できる。
<b>(3) 次年度の管理運営に対する指導事項等(施設所管課)</b>
夏の溪流釣り客が徐々に減少していることや、酷暑による移動制限により宿泊者数が伸び悩むなど、利用者の動きも日々変化しているため、利用者ニーズを逐次把握して利用者増加に向けた取組は必須と考える。また、指定管理者の財務状況が改善されるよう、引き続き現状分析や課題把握を行った上で施設運営を行っていくことを願いたい。